

Webにおける 開かれた小学校社会科地域読本の一試案

～概念探究学習をベースにした浪岡町読本を例に～

弘前大学教育学部附属小学校 教諭 秋田 真

I 問題の所在・目的

従来の社会科地域読本は、地域に関する知識を増やすものといったものが主流であり、加えて、学び方、調べ方を取り入れたものも見られるようになってきた。このような社会科地域読本は現在、教育委員会や学校、社会科研究団体や教員らの手によってインターネットのWebでデジタル化されるようになってきた。それらは従来の印刷物としての社会科地域読本と違い、新鮮な情報を提供できる。さらに情報の送発信も可能であり、世界中の誰にでも地域読本としての情報提供が可能である。また、地域読本の情報からさらに関わりのある情報を継ぎ目無く統合化できるといった環境も可能である。そこで、本題目での目的を次のように設定した。

- ① 国内のWeb社会科地域読本から63例を収集し、知識の質や知識の習得過程の視点や資料の扱い方から分析を行う。
- ② 概念探究学習の理論をベースにしたWebにおける開かれた社会科地域読本を、青森県浪岡町を地域素材として、その一試案を提示する。

II 方法

上記の研究目標を達成するために、次の方法をとった。

- (1) 国内のWeb地域読本を検索し、収集したWeb社会科地域読本を、「知識の質」「知識取得過程」、「資料」の扱い方を分析の視点として考察を行った。
- (2) 分析の結果を元に、概念探究学習理論をベースにしたWeb小学校社会科地域読本試案の一部を作成した。

III 研究過程

- (1) 知識の質および概念探究学習を取り込む

概念探究学習では図1・2のように記述的知識・分析的知識・説明的知識と積み上げていくことが一般的となっている。様々

な社会科理論でも「問い」は重要である。概念探究学習では「問い」を重視する。「問い」の答えは「知識」である。そこで知識の質と知識習得過程を明確にし児童に習得させることで、より質が高く応用が効く知識を身につけさせることが重要であると考え

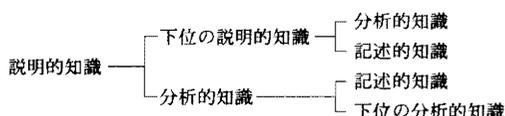


図1：岩田氏*1による知識分類

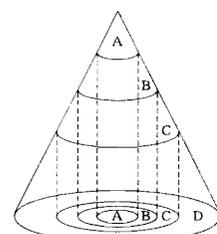


図2：知識間の関係構図
A 概念的知識 } 社会的見方
B 説明的知識 }
C 分析的知識 } 社会的見方を
D 記述的知識 } 構成する要素

*1 岩田一彦 「社会科授業研究の理論」 明治図書 1994年 pp.38-44.

え、概念探究学習を組み込む。作成するWeb社会科地域読本は岩田一彦*2氏による「概念探究学習」をベースにしている。

(2)国内のWeb地域読本の先行事例

国内の開かれた63のWeb社会科地域読本について、知識の質や知識の習得過程及び資料の扱い方から分析した。その結果、次のことが明らかとなった。ひとつは記述的知識を獲得させることをねらいとしたもの。もう一つは、前者に手段・方法や構造を求める知識を加えたものである。概念探究型学習をベースにしたWeb地域読本は、調査時点では見あたらなかった。さらに60事例が、現在まであった地域読本をWeb化したものであり、内容はこれまで地域で印刷・製本し配布していたものと何ら変わりが無いということが明らかになった。Webの特長を生かしたのも調査時点では見あたらず、概念探究学習をベースにした、Web小学校社会科地域読本試案の作成を試みた。

(3)研究対象の選定理由及び全体構成

研究対象として、第5学年での地域の生産活動を取り上げる。概念探究型学習では、原因と結果の因果関係を重視している。試案対象の浪岡町はリンゴの生産において、町村の部で生産量が全国1位になった理由を追究できるからである。

読本の全体構成は右図のように第5学年の産業学習を扱った内容となる。

5年読本目次	
1	米づくりのさかんな浪岡町
2	浪岡町のリンゴづくり
3	大釈迦工業団地の工業
	(1)ジュースを作る工場
	(2)デジタルカメラを作る工場
4	青森空港と浪岡IC

図4：読本全体構成目次

(4)Web社会科地域読本「リンゴづくりのさかんな浪岡町」知識構造

本Web社会科地域読本における知識構造は第5学年が対象学年であることから、次のように置き換えた。

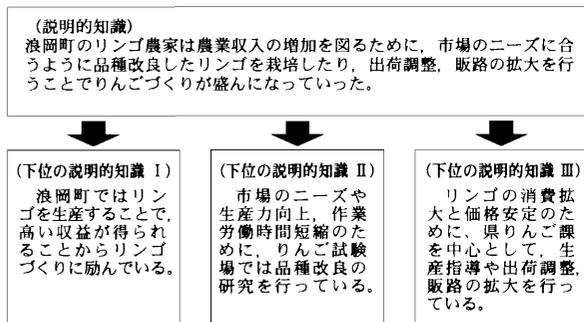


図5：浪岡町のりんご生産における説明的知識

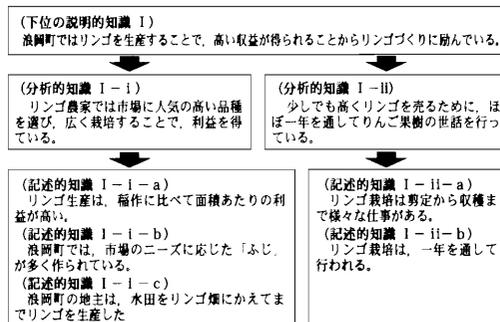


図6：分析的知识から記述的知識

(5)読本の実際

本Web読本試案のWeb社会科地域読本には「発問」・「指示」を記述した。本読本はHTMLにて書かれたプログラムであるため、変更が容易である。児童の実態や教師の意図によって、表示されている「発問」・「指示」や「知識」を児童に隠して提示する事も可能であるといった利点がある。(抄録掲載は一部)

*2 岩田一彦 『小学校 社会科の授業設計』 東京書籍 1991年 pp. 58-62

i はじめのページ

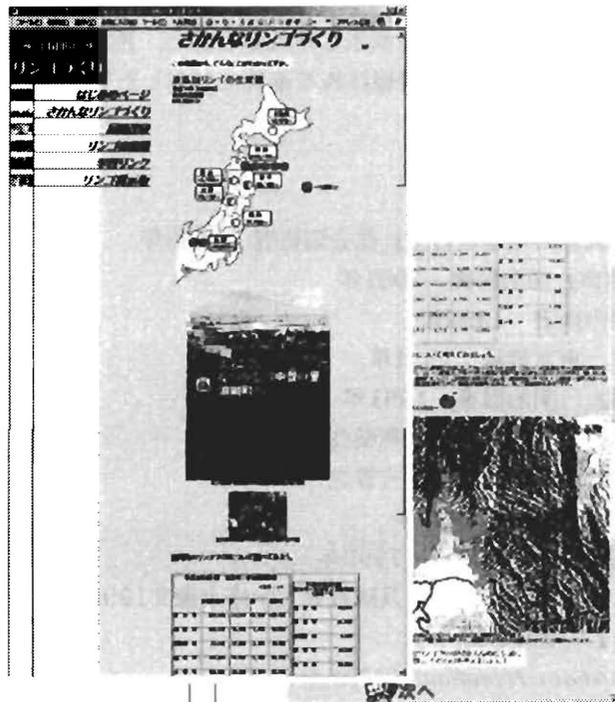


ii さかんなリンゴづくり

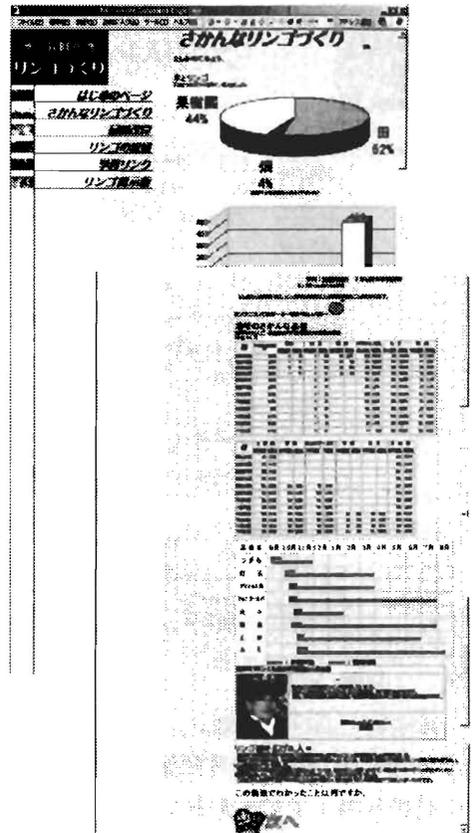
① 「情報収集」



② 「情報の分類・比較」 「学習問題の発見・把握」



③ 「仮説の根拠となる資料の収集」・「検証」



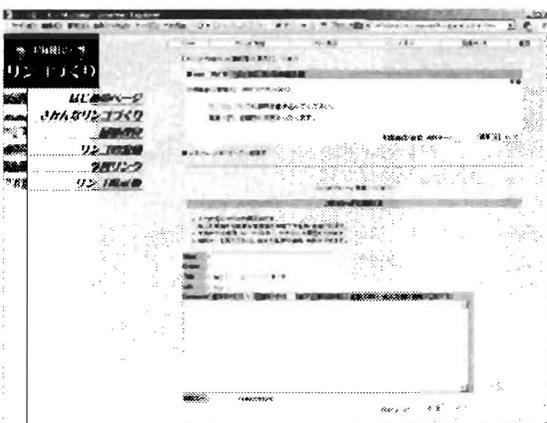
④ 「まとめ」 「新しい問いの発見」



iii 学習リンク



iv リンゴ掲示板



IV 成果と課題

本研究における成果は、概念研究学習をベースにし、「生きた知識」「応用可能な知識」を扱ったWeb社会科地域読本試案の一部を作成できたことである。読本は音声や映像、学習者が主体的に資料収集、予想・仮説づくりができ、学習者の相互交流が可能である。そのため地域に開かれ、世界に開かれたものとなった。

今後の課題は2点ある。一点目は、実際に本Web地域読本を活用した授業を行い、授業分析をし、読本の内容を改善していく点。二点目は、日々進化する情報技術の革新に対応したWeb教材の改良が課題である。

V 主要引用文献

- 祇園 全録『社会認識形成の視点からみた福岡県地理教育史』社会科研究 1983年
- 岩田 一彦『社会科固有の授業理論30の提言』明治図書 2001年
- 岩田 一彦『社会科授業研究の理論』 明治図書 1994年
- 岩田 一彦『小学校 社会科の授業設計』 東京書籍 1991年
- 岩田 一彦『小学校産業学習の理論と授業』 明治図書 1991年
- 波多江久吉『青森県りんご百年史』 青森県りんご百年記念事業会 1997年
- 高橋 正雄『東北地方りんご栽培地域の地誌学的研究』 伊吉書院 1994年
- 朝倉隆太郎『地域に学ぶ社会科教育』 東洋館出版 1998年
- 山口幸男他『郷土の範囲に関する地理学的考察』 新地理 1999年
- 松下 誠『社会認識における探究能力・技能育成の論理』兵庫教育大学修士論文1998年
- 文部科学省『新「情報教育に関する手引」』 2002年

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/020706.htm